



神奈川県

KANAGAWA

神奈川県立 子ども自立生活支援センター 「きらり」

この施設は、乳児院、福祉型障害児入所施設、児童心理治療施設の
3つが一体となった施設です。

子どもたち一人ひとりが「きらきら」と輝き、
個性豊かに成長できるよう、寄り添いながら支援します。



子ども自立生活支援センター 「きらり」は、子どもの自立を 一体的に支援する複合施設です

子ども自立生活支援センター「きらり」の特色

乳児院、障害児入所施設、児童心理治療施設の3つの施設を一体的に運営します。

それにより、障害や年齢に応じた専門的で切れ目のない支援が可能となります。

ここでは、さまざまな事情から自宅で暮らすことが難しくなったお子さんや、専門的な支援が必要なお子さんが、生活の支援や心理ケアを受けながら生活します。

センターとしての機能と役割

- 福祉、医療、教育の各専門スタッフが連携し、お子さんの心や体のケアを行いながら、家庭に代わって養育します。
- 入所時から退所後まで、家族、学校や地域と連携して、お子さんの自立を支援します。
- 専門的機関として、児童福祉施設や里親、市町村、教育機関などの関係者に対して、技術研修を実施します。
- 県内における保健福祉人材の養成に向けて、臨床実習の場を提供します。

積極的にボランティアを受け入れ、地域交流を図ります

子ども自立生活支援センター「きらり」では、地域の皆さんとともに、入所するお子さんを育てていきます。例えば、センター内での行事のお手伝いや外出の付き添い、衣類の補修など、ボランティアの方々を積極的に受け入れます。

また、イベントなどを通じて、地域の皆さんとの交流を深め、明るく開かれた施設を目指します。



乳児院プレイルーム

■乳児院「みらい」(定員 12 名)

概ね、0 ～ 2 才のお子さんが生活します。



中央棟2階分校昇降口

■管理部門

学校(分校)、診療所、面接室、日中活動室、厨房などが設置されています。



■児童心理治療施設「ぎんが」(定員 42 名)

主に小中学生で、家庭環境や学校における交友関係、その他環境上の理由により、社会生活への適応が困難となったお子さんが心理的な治療のために短期間(概ね2年程度)生活します。入所するお子さんは、センター内に設置された学校(分校)に通学します。

■障害児入所施設「ひばり」(定員 42 名)

幼児から高校生年齢の知的障害や、知的障害を伴う発達障害のあるお子さんが、日常生活および自立に向けた支援を受けるために生活します。入所するお子さんは、地域の小中学校の特別支援学級、特別支援学校に通学します。

障害児入所施設
ダイニング



児童心理治療施設
リビング



● 利用をご希望の方は、お住まいの地域の児童相談所へどうぞ

児童相談所名	所管市町村	電話
中央児童相談所	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町	0466-84-1600
平塚児童相談所	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町	0463-73-6888
鎌倉三浦地域児童相談所	鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町	046-828-7050
小田原児童相談所	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、開成町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町	0465-32-8000
厚木児童相談所	厚木市、海老名市、座間市、愛川町、清川村	046-240-6430
綾瀬児童相談所	大和市、綾瀬市	0467-78-2110



神奈川県立子ども自立生活支援センター「きらり」

〒259-1213 平塚市片岡 991-1

TEL 0463-56-0303 FAX 0463-59-3815

神奈川県立子ども自立生活支援センター

検索

アクセス

- JR「平塚駅」北口より、平30「湘南めぐみが丘」行きバス、「めぐみが丘北」下車、徒歩約7分
- JR「平塚駅」北口より、平71・74「秦野駅」行きバス、「片岡」下車、徒歩約15分
- 小田急線「秦野駅」より、平71・74「平塚駅北口」行きバス、「片岡」下車、徒歩約15分
- 小田急線「伊勢原駅」南口より、伊18「高村団地」行きバス、「片岡」下車、徒歩約15分

※周辺の道路は道幅が狭い所が多いため、お越しになる際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。